



カンムリウミスズメ

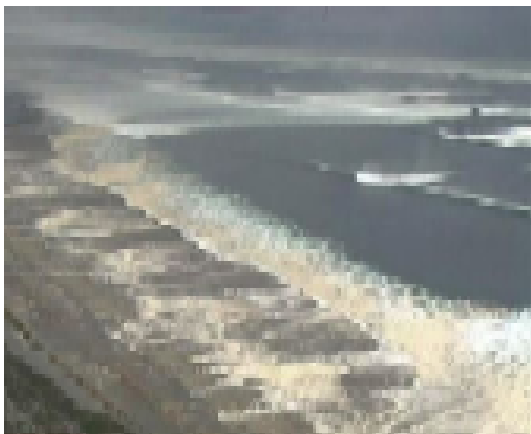
ふれあい

教育研究所は、子どもの命を守る「防災教育」の研究と子どもの命を育てる「ふるさと教育」の研究に取り組んでいます。この中で、「防災教育」では4つの学習を、「ふるさと」教育では3つの学習に取り組むことを考えています。今月は、この2つの研究の基本的な方針について紹介をします。



“防災教育”では、4つの大切な学習に取り組みます！

1 地震・津波を正しく知る学習に取り組みます。



津波が第1波、第2波、第3波と、次々と海岸に押し寄せています。

次のことは、正しいでしょうか、間違いでしょうか。

- 1 津波は第1波が一番大きい。
- 2 津波がくる前には必ず波が引く。
- 3 津波の時は、海岸から遠くへ逃げたほうがよい。

これは、みな間違っています。「津波の第1波が大丈夫だったからもう安心」と思っていたら命を失ってしまいます。波が引かずに津波が来ることもあります。津波の時は高い所に逃げなければなりません。正しい知識をしっかりと教えることが、子どもの命を守ることになります。地震や津波の原因や特徴をしっかりと教える学習に取り組みます。

2 自分で考え、行動する力を育てます。



巨大な津波が、船を押し流しながら、堤防を越えて押し寄せています。

- 1・2年生 指示にしたがって行動する。
- 3・4年生 自分で考えて行動する。
- 5・6年生 自分や他の人のことを考えて行動する。
- 中学生 自分や他の人、地域のことを考えて行動する。

この学習のカギは、自分で考え、判断し、行動することができる力を育てることです。東北では、「津波でんこ」という言葉が言い伝えられ、今また見直されています。自分の命は自分で守ることを基本に、自分や他の人のこと、地域の安全に役立つとしようとする心と行動力を育てます。

3 地域を考える学習に取り組みます。

地域の特徴や安全、防災について知る

地震や津波は、地域の土地の状況により強さや大きさが変わります。また、地域により避難場所や避難方法も違ってきます。

地域の災害の特色や地域の防災体制、地域の防災計画を知ることは、自分の命を守ることにつながる大切な学習です。

4 先賢^{せんけん}に学ぶ学習に取り組みます。

地震・津波についての先人の知恵を知る

昔から災害に関する言い伝えや先人の知恵が、多くの土地で語り伝えられています

昔話で伝えられている「稲むらの火」や東北大震災で見直されている「津波てんでんこ」なども先賢の知恵と言えます。このような生きた知恵をしっかり学びます。

“ふるさと教育”では、3つの学習に取り組みます。

1 門川町の自然や産業を学ぶ

学習1 カムリウミスズメの謎を探ろう！

カムリウミスズメは、門川町の宝です。世界的に貴重な鳥をはぐくみ、育てる門川町の豊かな自然について学ぶ学習です。「海・川・山の恵み」が学習のキーワードです。

3 門川町の歴史や文化を学ぶ

学習2 かどがわの歴史を調べよう！

門川町には、多くの祭りや魚を中心とする食文化、伝統的な踊りなどが継承されています。この学習では「かどがわの祭り・食・伝承」が学習のキーワードです。主に、体験をとおして学びます。

3 門川町の先賢^{せんけん}の精神を学ぶ

学習3 かどがわの先人・名人・達人に学ぼう！

これまで門川町を支えてきた人々、現在門川町を支えている人々について学ぶ学習です。「先人・名人・達人に学ぶ」が、学習のキーワードです。人と人との交流をとおして学ぶ、将来を見すえた、心の学習です。

この3つの学習を「かどがわ黒潮学習」とよぶことにしました。子どもたちは、この黒潮学習で体験活動をとおして知識を身に付けます。また、黒潮学習では、進んで地域の活動に関わる、地域を考える、地域についての思いを語る、といった指導を工夫します。このような学習をとおして、ふるさとを愛する心とともに、将来、ふるさとを支え、発展に貢献したいという意欲や気概^{きがい}を育てることに努めます。

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）~~~~